



因幡のくにの夢づくり

とのまる通信

新春特別企画

第38号

2008・1・1

発行：国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県鳥取市国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612 http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html

袋川だづだづ話

新春企画

ある日、70代の男性と話をしていると…

「昭和10年頃、日進小学校では冬の体育の

授業で袋川の寒中水泳があっただで。」とか

「袋川に賀露からポンポン船がきよっただで。」など、

今では信じられない話が飛び出した。もつというろんな袋川にまつわる話を聞きたい！との思いから、昔の袋川と人々の係わりについて鳥取市民の方に話を聞いてみました。

袋川で寒中水泳



袋川にオオサンショウウオがいた!



袋川で牛を放牧!



袋川で木材を運搬!



今では信じられん話がもりだくさんだね! さあ、読んでみて!



今回は昔の袋川はこうだっただで! という特集じゃよ!

▲よねぞうじいさん



謹んで初春のお慶びを申し上げます。



殿ダム工事事務所長 木村克己

皆様には、平素より殿ダム建設事業の推進につきまして、多大なるご支援・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。お陰様で昨年は、ダム本体工事の起工式とともに、ダムを築造するための地山の基礎掘削に着手するなど、平成23年度の事業竣工に向けて、大きく飛躍することができました。今年はいよいよ「平成のピラミッド」ともいうべき、ダム本体の本格的な盛立工事に着手します。歴史的な大事業が、日に日に目に見える形で進んで参りますので、是非、皆様も現場見学等にいらしていただきたいと思っております。また、県道及び市道の付替道路につきましても、一日も早い全線供用に向けて、引き続き努力して参ります。本年も何とぞ一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

袋川だてだて話

No 1



袋川で寒中水泳

昭和10年頃、日進小学校では、冬の体育の授業として、袋川で寒中水泳があった。泳ぐ前は、体に熊の油を塗ってな、体温を保つようにするけど、水に浸かったらん部分が途中から乾燥してパリパリになってはがれてな〜、寒くなるだが！泳ぐ距離は、新橋から若桜橋までだけど、みんな寒うて途中までしか泳げなかったわいや。(元町在住の男性76才)



No 2



袋川の水で米をとぐ

母親から聞いた話だけど、市内の袋川は、生活用水として使われとって、袋川の水で米をといだり、飲み水に使いよお〜たい話だ。 (吉方温泉在住の男性63才が母親から聞いた話)

No 3

袋川でオオサンのショウウオをゲット!

昭和30年頃、宮下辺りの袋川でオオサンショウウオを捕った事がある。 (今在家在住の男性64才)



No 4



橋を守った御用石

橋と言えば、コンクリートの橋を思い浮かべると思うけど、昔はみんな木製の橋でな〜、大雨が降るごとに橋もよ〜流されとった。 (袋川)

茶町にある鑄物師橋のたもとには、洪水から橋を守っていた「御用石」がある。この御用石は橋脚の周りに置かれ、橋が流されんようにした石で、大雨の時は橋の上にも御用石や酒樽を置いて、重しにして洪水対策をとっていたそう。 (栄町在住の男性70才)

よ〜く見て！「御用」って刻まれているよ！



鑄物師橋のたもとには7個「御用石」が展示されています。



明治末期頃の智頭橋 木の橋脚で橋を支えていたことがわかる。右上の建物は鳥取警察署で、火の見櫓にはお寺の釣り鐘が取り付けられ、この鐘で時を告げていた。(写真提供:鳥取県立博物館)



袋川下流桜土手 昔は川幅も広く、花見の頃は屋形船から花を愛でる人々も大勢いた。(鳥取県立公文書館蔵)

No 8

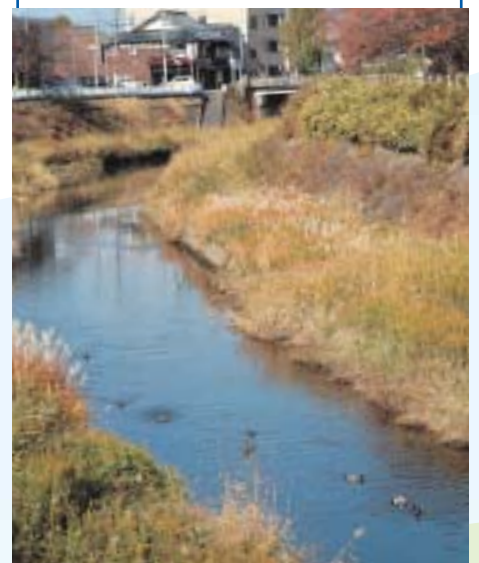
シーン



魚が棲めなくなつた事もある袋川

私が小学生だった昭和20年頃、市内の袋川には魚がよ〜けことおってな〜、しょっちゅう友達と袋川で遊びようりました。上級生から魚の釣り方を教えてもらったり、自分らで材木を拾ってきてはいかだを作って乗ってみたり…楽しかったな〜。

けどな、日本の高度経済成長の頃から全国的に護岸がコンクリートで固められて、水を流すだけの川になっただが。そしたら袋川に泥がたまり、水も汚のうなあって、毎年行われている**袋川生態調査**によると**昭和45年の3月・4月は全く魚がおらんかった**で。そこで『袋川をはぐくむ会』が昔の袋川のように、生物が多く棲める川にするため、多自然型川づくりを県に要望したら、平成8年に工事をしてくれてな、それから徐々に魚が増えて、毎年カモも飛来する川になっただで！自然の形に戻してやれば、生物は戻ってくる**で**。(栄町在住の男性70才)



現在の袋川 川が蛇行し、生物が多く集っている。(智頭橋付近)

No 5



袋川で木材を運搬

御弓町辺りに木材置き場があって、袋川にたくさん木が浮いとっただで。智頭や若桜から伐った丸太をいかだに組んで千代川から流し、市内へは袋川で運び入れ、御弓町に置いとっただが。
(えびすちょう 戒町に住んでおられた男性67才)

No 7

やかたぶね

屋形船が浮かび風情のあった袋川

わしら〜が小学校の頃(昭和12年頃)、袋川には**屋形船が浮いて**な、特に花見の頃には屋形船がよ〜け行き交った。割烹料理鳥吉の前に屋形船の発着場があって、夜になると明かりをともして、だんなと芸者さんたちがどんちゃんやるだが。学校から帰ると、友達とその屋形船にそ〜と乗り込んで遊ぶのが楽しゅうてな、船をゆらゆらゆすりよ〜ったら、船頭さんに叱られてな〜。そんな事がしょっちゅうあったわいな。

その船は今、おうちだに 櫛谷公園の梅鯉庵に隣接してあって、当時のまま保存され、屋形船の中で会合や持ち込みの食事ができる**で**。(元町在住の男性76才)



以前市内の袋川で利用されていた屋形船

No 6



ポンポン船が上がって来ていた袋川

1日2回ほどかろ 賀露の方からポンポンポンとエンジン音を出す**ポンポン船が袋川をつたって上流へ上がって**来て、茶町の辺りではお茶を卸し、若桜橋のたもとでは乾物を卸しよ〜っただで。(元町在住の男性76才)

No.9



大雨の時、袋川下流の魚が遡上する

私が子供の頃(昭和30年前後)、大雨が降ると楽しかったな～。なんでか言うと、下流から鯉やナマズが上がってきて、田んぼで産卵するのだが、そして水が引くと同時に下流に帰っていきただけ、その時、田んぼのみな口(田から川へ水が落ちる所)で待つと、簡単に魚が捕れてな～おもしろかったで。(今在家在住の男性64才)

No.10



台風で橋桁がよく流されていた

台風がくると、上流から大きな木の橋桁が流れてきて、その丸太を拾いに若者が袋川に飛び込みよ～っただで。正義感からでなく、自分げに持って帰るために拾うじゃが。なんせ当時(昭和30年前後)は風呂を焚くにも料理するのも燃料は木だったけえ、大きな丸太があると助かる。けどなあ、上流のものらあ～が、橋桁を探しに来てな～。しぶしぶ返す事がよくあったわい。(今在家在住の男性64才)

No.11



袋川のどんどん話

中郷橋下流辺りにある通称『中郷のどんどん』にはアコやマス、ウグイなんぞがたくさんおって、ヤスでよ～突きに行きよ～っただで。(どんどんって何ですか?)どんどんって知らんだか?袋川に堰をしている所があるわい、そこは多少落差があるけえどんどん音を立てて流れるじゃ。どんどんの下には滝壺のような深い所があつてな、子供の背丈よりまんだ深かったがよ～。(卯垣在住の男性64才)

No.13



袋川の河原でトロッコ遊び

昭和30年代、袋川の土手を整備しとつてな、土を運ぶためのトロッコがあったじゃ。それで工事が休みの日には友達とそのトロッコに内緒で乗つてな、今在家橋から宮下まで、ビュンビュンいわせて走つてな、楽しかったで。今でいうジェットコースターのようなものだけえ～な。(今在家在住の男性64才)

No.14



袋川の河原で各家が牛を放牧していた

昔一家に一頭は牛を飼いよ～で、学校から帰ると家から牛を連れて河原に行つて、草を食べさせよ～っただで。それで自分らは友達と川や河原で遊んでな～、夕方牛と一緒に帰るだけ、ある日、遊び過ぎて気がついたら牛がおらんじゃ。今在家から面影橋まで牛を探して土手を歩いた事があるわい。(今在家在住の男性64才)

No.12

袋川で川遊び

昔はプールなんぞなかったけえ、袋川でみんな泳ぎよ～っただで。駄菓子屋さんからエッチふんどしを10円で買ってな、それはいて泳ぎよ～った。(吉方温泉在住の63才男性)



エッチふんどし



だでだで話、次のページも読んでね!

No.15



お風呂の水は袋川の水を利用

私が子供の頃(昭和24年頃)、**お風呂の水くみ**は子供の仕事で、学校から帰るとまずは両手にバケツを持ち、**袋川で水くみ**、家と川を何度も往復してお風呂に水をためてからでない遊びに行けなかった。**ただ**。(鳥取市国府町中河原に住んでおられた男性65才)

No.16

よ~あらかる(氾濫する)袋川

うら(私)の松太郎じいさんが大正7年に水害に合うて、母屋や倉庫、味噌置き場が流されたという記録を残しとるわいや。

大水が出るたびに田んぼが削られて、うらげ(私の所)の田んぼは3反ものうなただで。昔の事だけえ、自然災害は補償がのうてな、うらげの田んぼだったところが今では袋川の一部になっとるわいや。(鳥取市国府町楠城に住んでおられた男性83才)



袋川上流の河川改修工事 鳥取市国府町下木原地内で行われた河川改修に携わった人とその関係者。(撮影:昭和11年頃。写真提供:山本鉄夫さん。情報提供:岡本徳美さん。)



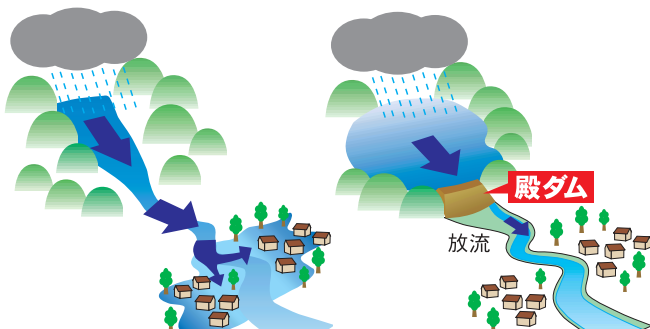
昔も今も生活にかかわりが深い袋川に殿ダムがつくられます

だでだて話はいかがでしたか?昔、袋川が鳥取市民にとって生活にかかせない存在であることがうかがえますが、今でも鳥取市の生活を支える水を与えてくれたり、遊び場や憩いの場になったりしていることは変わりません。

この袋川に殿ダムができると、今より安全・安心な暮らしをサポートできるようになります。

①洪水の調節

大雨が降った際、いったん殿ダムに水をためて、徐々に下流に流す事で、洪水を軽減します。



日本の川は急勾配のため、雨は一気に下流に流れます。

殿ダムができると、降った雨をいったんダムにためてから、少しずつ下流へ流すので、洪水を小さくできます。

②河川環境の保全

雨が少ない時には、殿ダムにためていた水を下流に流し、水田や畑の渇水被害を軽減すると共に、川の生物の生息場所を守り、河川を環境を保全します。

③工業用水の供給

鳥取県東部地区の工業用水として、新たに最大1日30,000m³の取水を可能にし、渇水時の不安定な取水状況を解消します。



④水道用水の確保

鳥取市の水道用水として、新たに最大1日20,000m³の取水(約40,000人分の水道使用量)を可能にします。



⑤水力発電

ダムから放流する水で発電を行い、最大1,100キロワット(一般家庭約1,000戸分)の電力を作ります。



殿ダムはあなたのそばでつくっています！



殿ダムは、鳥取市国府町の^{との}殿地区内に建設しています。JR鳥取駅から殿ダム建設地まで車で約**30分**(約14km)です。12月末には展望台も完成します。刻々と変化する殿ダム建設地をみに来てください。

現在進めている工事の紹介



殿地区

①殿ダム建設第1期工事

ダム本体工事です。現在は、主に基礎掘削(山を削る作業)と原石山(殿ダムの盛土材料を採る山)の掘削をしています。



新井地区

②殿ダム新井地区県道付替(その2)工事
新井地区の県道を付け替えるため、山を切り崩して道路の形を造っています。



中河原地区

③殿ダム中河原地区県道付替(その5)工事
中河原地区で県道を付け替えるため、山を切り崩して道路の形を造っています。



拾石地区

⑥殿ダム楠城山崎線付替(その4)工事
市道楠城山崎線を付け替える工事です。



楠城地区

⑦殿ダム楠城地区県道付替(その2)工事
楠城地区の県道を付け替える工事です。



拾石地区

④殿ダム貯水池横断橋下部工事

県道と楠城山崎線を結ぶ貯水池横断橋(仮称)の下部工(橋をのせるための土台と橋脚部分のこと)を造っています。



拾石地区

⑤殿ダム楠城山崎線付替(その3)工事

市道楠城山崎線を付け替える工事です。

中河原地区

⑧殿ダム中河原地区県道付替(その6)工事

中河原地区で県道を付け替える工事です。現在、工事に入るための木の伐採など準備作業をしています。



袋川にまつわる『だでだで話』と昔の袋川の写真を募集します！

この度の特集『だでだで話』のような、今では考えられない袋川と人々との係わりについての話と、昔の袋川に関する写真を募集しています！

投稿された話は、とのまる通信に随時掲載させていただく予定です。ご応募お待ちしております！(写真は掲載後ご返却致します)

■宛て先: 殿ダム工事事務所
とのまる通信編集部まで



お問い合わせ & お便りのあて先

国土交通省 中国地方整備局 殿ダム工事事務所
とのまる通信編集部
〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1221
TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>

